



一人ひとりの夢・思いを大切に しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

大井三丁目高齢者憩いの場

大井三丁目ゆうゆうプラザ

(品川区大井3丁目17-16)



目次

- (1) らうんじ
- (2) ~ (5) 平成28年度事業報告
- (6) 寄付者一覧・決算報告
- (7) 事業活動収支計算書
- (8) 豆知識・バザー報告・会館祭り案内・しなふくの窓

らうんじ

新規事業

「大井三丁目高齢者憩いの場」

五月八日に事業が開始された

『大井三丁目高齢者憩いの場(愛称：大井三丁目ゆうゆうプラザ)』は、区内に住まわれる六十歳以上の高齢者の介護予防、健康維持・増進と生きがいづくりを支援するために品川区が設置し、品川総合福祉センターが事業運営を受託いたしました。

また、子育て世代や障害者等、多世代交流の場としても活用されます。

事業内容としては、園芸療法、地域ミニデイサービス、気軽に立ち寄れる縁側カフェ・ミニ健康講座・認知症サポーター養成・スキルアップ講座を開催します。

また多世代が集う「ひなたぼっこ」と名付けた土曜日には、工作や昔遊び、料理教室など楽しい企画を準備しています。

その他、社会福祉協議会のほっとサロンの中にもあります。このように地域の中の小さな福祉拠点として、サービスを受けるだけでなく、利用者一人ひとりが、地域で元気に生活が出来るように、シニア世代他、多世代を多面的にサポートしていきます。

大井在宅サービスセンター・大井在宅介護支援センター施設長 宮田健一

平成二十八年年度 事業報告

品川総合福祉センター

昨年四月、福祉工場しながわパン工房プチレーブを南品川から二葉町一丁目（下神明駅近く）に移転、新規開店しました。店舗の前にながわ中央公園の拡張部分がオープンしたことで、お客様が大幅に増えました。九月には中小企業センター一階にカフェもオープンしました。

また年度途上に品川区から新規事業「大井三丁目高齢者憩いの場」の委託計画が示され、次年度開所に向け準備を進めてきました。（二十九年四月二十八日落成式を実施、五月八日事業開始。）

当年度、食事の質的向上を目指し、中延高齢者複合施設、八潮南特別養護老人ホームの給食業務委託業者をベストフードサービス（株）に変更しました。

一方では、職員の健康・衛生管理の向上に向け、引き続き健康支援室の機能強化を進

めるとともに、法令に沿い、初のストレスチェックを実施しました。

かえで荘

法人全体で取組んだ虐待防止について、かえで荘でも力を入れて取り組みました。職員一人ひとりに「利用者の尊厳を守る」ことを考える機会を作りました。稼働率については、ホームは九四・六％でしたが、ショートステイは九一・五％に上昇。引き続き利用の拡大に努めていきます。

感染症関連では、インフルエンザの感染が拡大し、入居者の三割の方が罹患しました。感染症対策について課題が浮き彫りになる結果となりました。

中延特別養護老人ホーム

特養、短期入所とも目標稼働率に届かず、経営的には厳しい状況でしたが、ケアの味の部分では、約二年間の検討期間を経て「看取り介護」

を開始しました。ご本人、ご家族の意向を踏まえ、管理医師との連携も強め、事業所全体で取り組み、六名の方を看取らせていただきました。まだまだ課題もありますが、まずは一歩踏み出したことに意味があると感じています。一方、給食調理、建物設備管理とともに、新規の会社と契約しました。年度当初は幾分の行き違いもあったものの、利用者の生活に影響を生じること無く、概ね順調に業務遂行が出来ました。

八潮南特別養護老人ホーム

利用者の支援に対する話し合いを設け、利用者一人ひとりにとっての安全や安心を優先する生活の支援を目指しました。また、季節に沿ったお茶会やお祭りなど、ご希望で参加できる催しを開催し、生活に潤いを取り込みました。要介護度改善ケアについても各職員に周知すると共に、施設の役割として取り組んで

います。

感染症関連では、手洗いの重要性を職員間で周知、実践した結果、大きな感染症の発生はありませんでした。

八潮南グループホーム

入居者一人ひとりの生活により添って、ご本人の力が発揮できる機会を作り支援しました。



大井ふ頭中央海浜公園でお花見をしました。

しかし、加齢とともに身体介護を必要とする方が増え、服薬その他の健康管理も重要になってきました。歌のボランティア、園芸などの趣味活動を両ユニット合同で行い、



認知症サポーター養成講座の一幕

利用者の余暇支援を進めました。

感染症関連では、衛生管理面の対応を強化し、感染予防に努めた結果、感染症の発生はありませんでした。

八潮在宅サービスセンター

八潮在宅サービスセンターは、日々のサービス向上に努め、また、新規利用や増回、変則的な利用希望にもできるだけ添うようにして、稼働率の向上を図りました。職員体制の調整に苦慮した時期もありましたが、常勤介護士を増やして対応しています。また、理学療法士も増配置し、個別リハビリや介護予防事業「マシンドレーニング」の体制

も強化しました。

八潮在宅介護支援センター

八潮在宅介護支援センターは、高齢化率の高い八潮地区にあつて、地域の身近な総合相談や介護保険の窓口としての役割を担いました。地域に向けては、八潮在宅サービスセンターと共働しい「オレンジカフェぽっかぽか」を年三回実施しました。その中で認知症についてミニ講座を行った他、認知症サポーター養成講座を地域の自治会等で実施しました。

大井在宅サービスセンター

「倉田のおばあちゃん一座」と銘打って、デイサービスの利用者が児童施設へ訪問し、読み聞かせや紙芝居を通しての多世代交流を行いました。「サービスを受ける」だけではなく、教える・伝える側になったことで、「自分にはできることがある」「子供が喜んでくれるのが嬉しい」という声が利用者から聞かれました。

大井在宅介護支援センター

地域と繋がりを深めるため「大井第二地区ふれあい盆踊り大会」へ参加しました。また、認知症サポーター養成講座や認知症カフェの実施、行方不明高齢者早期発見のため、品川くるみ高齢者見守りネットワーク構築と見守りアイテム配布を行うなど、認知症になっても安心して、いつまでも地域社会で生活できる地域づくりの活動を行いました。

大井第二在宅介護支援センター

大井第二在宅介護支援センターは住宅街に位置し、介護相談、ケアマネジメントを進め、その件数は年々増加傾向にあり、一年間で介護給付マネジメント数が二十件増加しています。

地域づくりは、近隣の西大井・大井在宅介護支援センターと連携し、地域の学校や団体等への認知症サポーター養成講座を開く等の活動を進めました。

中延在宅サービスセンター

「必要な人に、必要なサービス」を念頭に置き、個別対応を重視したケアに力を入れ支援を行いました。活動内容についても、予め用意してい



千葉の海を眺め、海鮮料理に舌鼓を打ちました。

るプログラムよりも、利用者との会話から出てくる希望を優先しています。ここ数年、天気の良い日は、外出の機会を多く取り入れていますが、昨年度は「海に行きたいね」の声に応え、童心に帰り「金谷への遠足」を行いました。
中延在宅介護支援センター
昨年七月より、事業所の一階ロビーを活用し、誰もが自

由に集える場として喫茶を始めました。高齢者の相談を主な業務としている事業所ですが、喫茶は高齢者に限定することなく、子供から高齢者まで、誰でも自由に立ち寄り、気軽に話せる交流の場を目指しました。傾聴ボランティアの協力を得て、次年度も美味しいパンとコーヒーで地域の方をお迎えします。

かもめ園（知的・身体）

身体障害部門では、他施設からの利用者の受け入れを進めるなど、かもめ園の対応力を高めてきました。また利用者の高齢化障害程度の重度化が進み、緊急通院や長期入院等の状態変化が著しい状況でした。在宅利用者の通所は安定しており、ニーズに合わせて入浴サービスを開始しました。

二十七年度に発生した不適切な支援に対して、改善計画に基づき両部門とも毎月虐待防止委員会を開催し、虐待の防止、人権擁護の強化を進め



とても楽しみにしている恒例の津久井浜へみかん狩り(知的障害部門)

ました。

知的障害部門では二名が退所され、一名が新入所されました。加齢による身体機能の低下への対応として、医務、給食等多職種と連携して支援体制強化に取り組みました。そして「個々人が希望する暮らしの実現」を目標に、個別支援計画に基づいて支援を進めました。また、フロアを一階、二階、二階北と三分割し、ゆったりとした空間により支援の個別化に効果を上げています。生活環境面ではシャワールームの改修やトイレの増設工事を行いました。

さつき

さつきでは、各部門で業者との関係性を大切にしながら、軽作業、クリーニング作業や、売店、喫茶の営業を進めました。更に、安定した仕事の提供や、工賃の向上にも取り組みました。一方、利用者の高齢化が顕著となり、介護保険サービスの利用や、入所施設へ移行をされた方もいらっしゃいました。今後は、更に高齢



伊東への宿泊旅行写真

化が進む中、出来るだけ通所して頂くことができるような環境造りを進め、就労継続支援だけではなく、ご本人やご家族の相談支援にも力を入れています。

福祉工場しながわ

福祉工場しながわでは、年度途中で従業員の採用が二名ありました。清掃では引き続き公園や企業の清掃現場が増えていきます。

製パン事業では四月に移転先(二葉一丁目)にてリニューアルオープン。また、九月には中小企業センター一階にてプチレーブカフェをオープンすることができました。新たなチャレンジを進めています。

製陶事業では年度途中で担当者が代わり、技術向上を目指して実地研修を実施しました。その他、納涼会や一泊旅行、忘年会など日々の業務を



朝礼後はすぐ鮫洲公園の清掃に出掛けます。

ろう行事を行い、皆さん満足
されていきました。

サンかもめ

《安心・安全・笑顔いっぱい》をテーマに利用者個々に
応じた自己実現や自立を目指
し、事業を展開しました。通
常の活動の他に、日帰り旅行
等施設外の活動を行い、様々
な体験から生活の幅を広げる
機会を設けました。

地域資源等を活用したりサ
イクル活動を継続し、ボラン
ティアの受け入れや広報紙を
通して地域の理解を深められ
るよう努めました。

品川区障害者芸術活動支援
事業により、アール・ブリュッ
トを取り入れ、創作活動等有
意義な時間になっており、ご
家族にも好評です。



天王洲での展覧会に出展しました。

なぎさの家

鮫洲なぎさの家では昨年度
南品川にサテライト型住居を
設置しました。世話人の異動
もなく、安定した生活支援を
進める事が出来ました。利用
者とご家族の高齢化により帰
宅が難しくなってきた中、
休日の過ごし方についても支
援の必要性・重要性が高くなっ
てきています。特に外出や行
事等への参加促進、情報や話
題性の提供により、社会性を
保つ支援を進めています。
また、バーベキューを通じ
て地域の方との交流も定着し
ています。

心身障害者福祉会館

心身障害者福祉会館では、
生活介護事業にて長く行っ
てきた運動会を、全員参加型の
行事「トットフェス」に変更
しました。体験や体感を皆様
に楽しんでいただきました。
地域活動支援センターでは、
高次脳機能障害者サポーター
養成事業を開始するなど、各
事業が継続していく事と新た

に必要なサービスを創造する
ことで、更に当館の機能を高
めるよう取り組んできました。
また、区内唯一の事業であ
る「自立訓練事業」、在宅生
活の支援を行う「地域生活支
援センター」など、会館機能
を更に利用していただけるよ
う、関係機関との連携を進め
ます。

八潮中央保育園

年間を通して定員を満たし
た状態で運営しています。保
育方針である「元氣な子ども」
「思いやりのある子ども」
「感性豊かな子ども」をめざ
す子ども像とし、八潮の自然
環境を生かし、乳児クラスか



園庭の満開の桜を見上げながら
幼児クラス全員で給食を食べました！

ら天気の良い日は近隣の公園
に散策に出掛け、外気に触れ
て体を動かし、心身ともに健
やかな成長を促しました。

健康面では、年末に胃腸炎
が流行した為、保護者のご協
力を得ながら感染拡大防止に
努めました。

地域福祉課

地域福祉課は、品川総合福
祉センターの理念「地域とと
もに」を合言葉に、多くのボ
ランティアの皆さまと多岐に
わたる事業を展開しています。

利用者・地域の皆さまに例
年楽しんでいただいている、
「楽しいバザー五月祭り」
「しなふく紅葉まつり」青少
年ボランティア「しながわ役
立ち隊」が活躍した「こども
のつどい工作夏祭り」、教室・

サークル活動では、手話講座
に、例年の倍となる多くの方
たちに参加していただきました。
また、本部の「喫茶しなつ
ぺ」で地域開放事業として認
知症カフェ「オレンジカフェ
しなふく」を実施しました。

平成28年度のご寄付

皆様から、ご寄付いただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

石沢 基十郎	小田 信昭	島崎 妙子	田畑 裕昭	樋口 智章	宮地 恵美子	山下 隆
市川 静江	櫻村 芳子	鈴木 里子	田原 政義	日比 ミリ子	村田 勉	
井上 洋子	勝野 翼	菅澤 政夫	西島 信夫	廣瀬 典子	矢部 正美	
大泉 正子	熊坂 孝	鈴木 敏夫	根岸 順子	水野谷 育男	山口 睦子	

団体

イトーヨーカドー大井町店	高川区知的障害者育成会	障害者七団体協議会 会長島崎妙子	中六さくら会	八潮地域センター フェスティバル実行委員会	八潮わかさ荘自治会
魚栄	(社福)さくら会	勝健館須藤道場	西中三親友会	八潮地区防災協議会	八潮わかば幼稚園
在原第四地区民生委員協議会	(社福)品川区社会福祉協議会	青少年対策八潮地区委員会	八潮1号棟自治会	八潮地区民生委員協議会	ゆたか在宅福祉サービス
荏原町町会	(社福)品川総合福祉センター かもめ国家族会 会長島崎妙子	地域生け花教室山田繁子	八潮学園	八潮中央保育園父母の会	
大井第一地区民生委員協議会	(社福)品川総合福祉センター かもめ国家族会(身体)	ディ・エス・スタッフ(株) 代表取締役 入澤理沙	八潮五十号棟自治会	八潮二号棟自治会	
株品川都市整備公社	(社福)品川総合福祉センター かもめ国家族会(知的)	東京都荏原歯科医師会	八潮五八・五九号棟自治会	八潮西自治会	
品川区視覚障害者福祉協議会	(社福)春光福祉会	東京善意銀行	八潮自治会連合会	八潮四十号棟自治会	
品川区重症心身障害(児)者を守る会	(社福)福栄会	都営中延6丁目アパート自治会	八潮地域センター 所長 横山莉美子	八潮六十号棟自治会	

貸借対照表

平成29年03月31日 現在

平成28年度社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,256,903,783	1,457,554,547	△ 200,650,764	流動負債	234,551,229	325,884,857	△ 91,333,628
現金預金	880,014,569	914,536,191	△ 34,521,622	事業未払金	94,354,644	186,639,078	△ 92,284,434
事業未収金	366,499,107	378,112,353	△ 11,613,246	<small>1年以内返済予定設備資金借入金</small>	10,010,000		10,010,000
商品・製品	2,329,817	3,541,680	△ 1,211,863	預り金	17,750,542	18,856,615	△ 1,106,073
原材料	1,180,663	0	1,180,663	職員預り金	11,236,043	10,173,184	1,062,859
立替金	499,556	43,413,617	△ 42,914,061	拠点区分間借入金		110,215,980	△ 110,215,980
前払金	758,024	451,580	306,444	賞与引当金	101,200,000		101,200,000
前払費用	319,224		319,224	固定負債	298,886,484	309,962,302	△ 11,075,818
拠点区分間貸付金		110,215,980	△ 110,215,980	設備資金借入金	128,460,000	148,480,000	△ 20,020,000
仮払金	7,398,823	7,283,146	115,677	退職給付引当金	170,426,484	161,482,302	8,944,182
徴収不能引当金	△ 2,096,000		△ 2,096,000				
			0	負債の部合計	533,437,713	635,847,159	△ 102,409,446
固定資産	1,929,208,638	2,076,119,897	△ 146,911,259	純資産の部			
(基本財産)	1,113,223,120	1,213,866,404	△ 100,643,284	基本金	230,000,000	230,000,000	0
建物	1,112,223,120	1,212,866,404	△ 100,643,284	国庫補助金等特別積立金	713,815,173	779,981,797	△ 66,166,624
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	その他の積立金	217,978,035	311,975,665	△ 93,997,630
(その他の固定資産)	815,985,518	862,253,493	△ 46,267,975	人件費積立金	32,000,000	32,000,000	0
車輛運搬具	10,167,153	6,117,227	4,049,926	修繕積立金	15,000,000	15,000,000	0
器具及び備品	100,840,679	136,404,729	△ 35,564,050	備品等購入積立金	9,520,000	9,520,000	0
ソフトウェア	5,400,057		5,400,057	工賃変動積立金	600,000	600,000	0
投資有価証券	310,706,200	351,489,550	△ 40,783,350	設備等整備積立金	6,500,000	6,500,000	0
退職給付引当資産	170,426,484	161,482,302	8,944,182	設備更新積立金	154,358,035	128,864,225	25,493,810
人件費積立資産	32,000,000	32,000,000	0	施設整備積立金		25,715,440	△ 25,715,440
修繕積立資産	15,000,000	15,000,000	0	施設運営費積立金		83,776,000	△ 83,776,000
備品等購入積立資産	9,520,000	9,520,000	0	研修基金積立金		10,000,000	△ 10,000,000
工賃変動積立資産	600,000	600,000	0				
設備等整備積立資産	6,500,000	6,500,000	0				
設備更新積立資産	154,358,035	128,864,225	25,493,810				
施設整備積立資産		14,275,460	△ 14,275,460	次期繰越活動増減差額	1,490,881,500	1,575,869,823	△ 84,988,323
施設運営費積立資産	0			(うち当期活動増減差額)	△ 178,985,953	△ 944,172	△ 178,041,781
研修基金積立資産	0			純資産の部合計	2,454,674,708	2,699,827,285	△ 245,152,577
差入保証金	70,000		70,000				
長期前払費用	396,910		396,910				
資産の部合計	3,186,112,421	3,533,674,444	△ 347,562,023	負債・純資産の部合計	2,988,112,421	3,335,674,444	△ 347,562,023

事業活動計算書

(自)平成28年04月01日 (至)平成29年03月31日

平成28年度社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,754,286,399	1,749,217,752	5,068,647
		保育事業収益	187,369,830	184,329,093	3,040,737
		就労支援事業収益	130,425,393	136,334,855	△ 5,909,462
		障害福祉サービス等事業収益	1,005,466,181	1,030,949,610	△ 25,483,429
		公益事業収益	31,068,232	46,714,366	△ 15,646,134
		経常経費寄付金収益	3,025,727	3,515,776	△ 490,049
		その他の収益	2,241,820	1,666,568	575,252
	サービス活動収益計 (1)	3,113,883,582	3,152,728,020	△ 38,844,438	
	費用	人件費	2,166,925,413	2,004,769,114	162,156,299
		事業費	366,427,040	375,057,883	△ 8,630,843
事務費		545,876,207	552,615,361	△ 6,739,154	
就労支援事業費用		184,552,343	186,005,591	△ 1,453,248	
利用者負担軽減額		275,274	454,085	△ 178,811	
減価償却費		127,613,290	132,518,007	△ 4,904,717	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 63,009,277	△ 66,128,860	3,119,583	
徴収不能額		7,360		7,360	
徴収不能引当金繰入		2,096,000		2,096,000	
サービス活動費用計 (2)	3,330,763,650	3,185,291,181	145,472,469		
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 216,880,068	△ 32,563,161	△ 184,316,907		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	400,449	431,216	△ 30,767
		有価証券評価益	56,000	3,018,000	△ 2,962,000
		有価証券売却益	16,000		16,000
		その他のサービス活動外収益	42,548,431	41,971,860	576,571
		サービス活動外収益計 (4)	43,020,880	45,421,076	△ 2,400,196
	費用	有価証券評価損	855,350		855,350
		その他のサービス活動外費用	2,233,684	2,170,550	63,134
		サービス活動外費用計 (5)	3,089,034	2,170,550	918,484
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	39,931,846	43,250,526	△ 3,318,680	
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	△ 176,948,222	10,687,365	△ 187,635,587	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	4,000,000	2,100,000	1,900,000
		固定資産受贈額	188,190	3	188,187
		拠点区分間固定資産移管収益		3	△ 3
		その他の特別収益	8,333,810	36,000,000	△ 27,666,190
		特別収益計 (8)	12,522,000	38,100,006	△ 25,578,006
	費用	固定資産売却損・処分損	17,695,078	131,786	17,563,292
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 7,157,347	△ 26,833	△ 7,130,514
		国庫補助金等特別積立金積立額	4,000,000	2,100,000	1,900,000
		拠点区分間固定資産移管費用		3	△ 3
		その他の特別損失	22,000	47,526,587	△ 47,504,587
特別費用計 (9)	14,559,731	49,731,543	△ 35,171,812		
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	△ 2,037,731	△ 11,631,537	9,593,806		
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	△ 178,985,953	△ 944,172	△ 178,041,781		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	1,575,869,823	1,602,181,058	△ 26,311,235	
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	1,396,883,870	1,601,236,886	△ 204,353,016	
	その他の積立金取崩額 (14)	139,491,440	36,780,655	102,710,785	
	その他の積立金積立額 (15)	45,493,810	62,160,000	△ 16,666,190	
	次期繰越活動増減差額 (16)=(13)+(14)-(15)	1,490,881,500	1,575,857,541	△ 84,976,041	

蚊とストレスの 意外な関係

いよいよ夏本番。近年は異常気象により厳しい暑さが続いています。暑い夏と言え「蚊」も元気になる季節でもあります。

そこで今回は、「蚊」についてお話をしたいと思います。

昔から、お酒を飲む人は飲まない人比べて蚊に刺されやすいと言われている。聞いたことのある方が多いのではないだろうか。蚊は、二酸化炭素を目印に人間を発見するそうです。お酒を飲むと呼吸が早くなり、二酸化炭素の排出量が増え、蚊に見つかりやすくなるため、刺されやすくなるそうです。お酒を飲まなくても代謝が高く活発な人は蚊に刺されやすいそうです。これは人間が排

豆知識

出す炭酸ガスや温度、乳酸に蚊が反応し、刺されると考えられています。

そもそも、蚊は常に人間の血を吸っているわけでありません。産卵直前、子供を産むときだけ栄養が必要になるのです。また、最近の研究では、蚊は人間がストレスを感じた時に出す物質を好まないようで、ストレスを抱えた人は刺されなくなるそうです。人間の防衛本能によるものとも言われています。

「最近そういういえば蚊に刺されないなあ」と感じている方は、知らず知らずのうちにストレスを溜めているのかもしれない。しっかり心のケアに注意して、暑い夏を乗り切りましょう。



バザーのご報告

第三十三回楽しいバザー五月祭りを五月二十八日(日)に開催いたしました。

当日は、夏日のような気温の中、大勢の来場者で賑わいました。最後のバザー開催を感謝して配布した無料の豚汁には長い行列ができて、皆様喜んでいただきました。

当日の収益の一部を義援金として、品川区を通じて被災地へお送りいたします。バザー収益金…七十七万三千四百十六円

会館祭りの案内

日時…平成二十九年七月九日(日)十一時～十五時

会場…品川区立心身障害者福祉会館(品川区旗の台五―二―二) 東急大井町線・池上線「旗の台駅」徒歩五分

内容…模擬店、アトラクション、スタンプリナー等

しなふくの窓

新年号の「しなふく散歩」に続き、新たなコーナーとして「しなふくの窓」をスタートしました。何気なく見る施設の窓や屋上からも、改めて眺めてみると四季折々の移り変わりを感じることが出来ます。また、普段施設内では目に留まらないような「素敵なもの」を紹介できたらと思います。みなさんの知らない「しなふく」が見えるかも……



法人本部屋上より望む八潮橋方面の景色(初夏)